

Q：メダカを飼っていますが、なかなか卵を産みません。また、すぐ死んでしまいます。どうしたらよいでしょうか。【5年】

A：メダカが住みやすいよう、環境を整えましょう。

○水温や水草

メダカの活動を活発にし、卵を産む環境を整えましょう。水温 25 ～ 28℃ぐらいで直射日光の当たらない明るい場所で飼いましょう。また、水底に砂や土を入れ、水草や浮き草を入れるとよいでしょう。そして、1～2週に1回程度汲み置きの水で3分の2程度の水換えをして水質を管理しましょう。それでもうまくいかない場合、次のような点を気をつけてみるとうまくいくかもしれません。

○ストレス軽減

メダカは基本的に大変臆病な動物です。ですから、身を隠すものがないとストレスがたまるようです。水草はもちろん、そのほかにもメダカが身を隠せるようなものを水槽の中に入れてみてください。また、ふだんメダカが暮らす池や川では、「横から見られることや光が入ること」はありません。一方水槽の中では、横から見られ、光が入ります。これもメダカにとってはストレスになるようです。可能であれば、水槽のまわりを何かで覆い、観察は上から行うことを基本とした方がよいでしょう。

アドバイス：

Web ページなどを見ると、エアレーション（機械などで水の中に空気を送り込むこと）はメダカにとって良くないという記述を見かけます。メダカは水流に逆らって泳ぐので、エアレーションによる水の流れが、水槽全体に及んでいると、メダカが体を休める場所がありません。広い水槽で、水流がある場所とない場所を作ることが理想ですが、そうでなければ、エアレーションはやめた方がよいでしょう。エアレーションの代わりに、水草をいれましょう。水草を入れ、明るい場所においておけば、水草の光合成により水中に酸素が補給されます。

また、メダカには野生種のクロメダカと観賞用のヒメダカがいます。体が黒っぽいのはクロメダカで、オレンジ色っぽいのはヒメダカです。飼育しているメダカを近くの川などに放流すると、もともとその地域にいたメダカに影響を与えてしまう可能性があるのです。むやみに川に放したりしてはいけません。